

頭をうった！

子どもは、よく頭を打ちます。

家庭の中での事故は症状が軽く済む場合がほとんどですが、時に重症になる場合もあります。また、軽く打っただけで打った直後は元気でも、あとから症状が出現することもあります。よって、打った直後の診察だけでは、本当に心配ないものかどうかを見極めることは大変困難です。

そこで、大切なことは、頭をぶつけたあとの、お家での観察ポイントです。

頭をぶつけて症状が出現する多くは 24 時間とされています（ただし、48 時間はしっかり経過観察）。特に**最初の 6 時間**の間に容態が変化することがあり、この間の観察は非常に大切となります。

頭をぶつけた直後に大きな声で泣いたり、顔色を悪くして 1～2 回嘔吐し、すぐ眠ってしまったというエピソードはよく見られます。大きな声で泣くということは、意識はしっかりしているサインです。そして、1～2 回の嘔吐でしたら、まずは様子を見て大丈夫です。ちょっと眠った後に起きていつも通りに機嫌よく遊んだり、水分や食事をとっても嘔吐を認めなかったら自宅で様子を見ても大丈夫です。ただし、その日は自宅でゆっくり過ごし、しっかり経過観察が大切です。

そして、次にあげる症状が一つでも当てはまったら、

速やかに救急外来を受診してください。

1. 意識障害

ボーっとしている、呼びかけても反応が鈍い・視線が合わない、眠りがちになる、などの症状を認めます。眠りがちのときに、軽くゆすったり、呼びかけたりして刺激を与えてみていつも通りの反応でしたら大丈夫ですが、反応が鈍かったり、反応しない場合は意識障害の可能性があります。

2. 嘔吐

何度も立て続けに嘔吐したり、吐き気を訴えるときは注意です。

3. けいれん

顔色が突然悪くなり、手足や頭がピクピクと震えたり、全身をガクガク、バタバタさせます。この時、意識はありません。

4. 鼻出血、耳からの出血

鼻や耳からの出血や鼻水や、鼻や耳から液体が出てくる（鼻漏、耳漏）

5. 頭痛、首の痛み

我慢できない、どんどん強くなる頭痛。赤ちゃんは不機嫌が続きます。

6. 手足の動きがおかしい

手足がしびれる、うまく力が入らない、歩くときにふらつく、転ぶ

7. 見え方がおかしい

物が二重に見える、物が見えにくい

8. しゃべり方がおかしい

言葉の理解がいつもより悪い、うまくしゃべれない



さくらキッズクリニック
sakura kids clinic